

兵庫ディステーションキャンペーンにおける 北摂産原木しいたけの普及啓発について

阪神農林振興事務所 里山・森林課 上村公浩

推進方策：観光分野との連携強化等
(グリーン・ツーリズムの推進)

1 はじめに

兵庫ディステーションキャンペーン全国宣伝販売促進会議（以下兵庫DC）が、令和4年9月26日にポートピアホテル南館において開催されました。

兵庫DCは、令和5年7月～9月に「兵庫テロワールの旅」をテーマに、JRグループや旅行業者、報道機関等が連携して実施されるキャンペーンで、兵庫県の観光情報や食のコンテンツを発信し、兵庫県への誘客を図るため、体験ツアーなどが企画されています。今回の会議は、来年度の取組に向けて兵庫県の魅力を旅行会社等にプレゼンテーションし、旅行会社の方と地元関係者の方とのコミュニケーションをとることを目的としたもので、阪神エリアの農林水産物として、「北摂産原木しいたけ」と「三田牛」のブース展示および試食によるPRを行いました。

2 内容

- (1) 日時 令和4年9月26日（月） 14:00～19:30
(ブース展示及び試食は 18:00～19:30)
- (2) 場所 神戸ポートピアホテル南館 （大和田、ホワイエ）
神戸市中央区港島中町
- (3) 普及対象 旅行会社の旅行商品造成関係者、JRグループ関係者など約340名
- (4) 対応者 阪神農林振興事務所 里山・森林課 上村公浩
北摂原木しいたけ振興協議会 中西孝之（(株)かさや）
- (5) 内容

阪神エリアブースにおいて、北摂産原木しいたけのパネルやしいたけ原木のサンプル等の展示による普及啓発を行うとともに、ポートピアホテルのシェフが調理した「三田牛ステーキ原木しいたけ添え（100食分）」の試食を実施した。

3 結果・考察

試食は受け取るための行列が出来るほど好評であり、終了を待たずして全て配布されました。試食された方からは、非常においしいとの感想が多数聞かれました。（齋藤知事にもご試食頂けています。）

また、旅行会社等との情報交換も活発に行われており、今後、北摂産原木しいたけの全国的なPRの一助となることが期待できます。



4 今後の取組・課題

来年度の兵庫DCに向け、管内の販売場所を記した地図などを作成・配布するとともに、販売場所においても他商品との差別化を図るためにミニのぼりを掲示する計画をしています。また、原木しいたけの生産・消費が里山林の適正な管理に繋がることについても、併せて普及啓発していきたいと考えています。

5 課題に関わった林業普及指導員

阪神農林振興事務所 里山・森林課長 上村公浩

北但きのこ生産振興協議会

豊岡農林水産振興事務所 森林課 福田祐介

推進方策：県産県消の推進等
(県産農林水産物の購入機会の拡大)

1 はじめに

北但地域（豊岡市、香美町、新温泉町の3市町）において、コナラ・クヌギ等の広葉樹林を原木として、しいたけを生産する生産者が集まり、情報交換等を行いながら、原木栽培のしいたけの良さを生産者にPRする活動を通して、しいたけの消費拡大並びに生産者の生産意欲の向上につなげています。

2 内容

新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、令和2年度、3年度と十分な活動ができなくなりました。令和4年度もコロナウイルス変異株の発生により感染症の拡大が収まらない状況下ではあったが、令和3年度同様の活動を行ったので、その内容を報告します。

(1) ほだ場診断研修会

7月12日に香美町内の生産者である田中芳一氏及び山根正行氏のほだ場において開催しました。講師は鳥取県にある日本きのこセンターに依頼しました。先両名のほだ場を見学し、しいたけ菌が原木内に十分蔓延しているか、どうかを確認するなど、良いほだ木とするための伏せ込み等について、講師の指導を仰ぎました。



(2) しいたけの植菌体験を通じた但馬産原木しいたけのPR活動

12月10日(土)にJAたじまのスーパーマーケット「たじまんま」(豊岡市八社宮)にて、但馬産原木しいたけのPR活動として、しいたけの植菌体験を開催しました。

参加者は50名を予定していましたが、40名の参加となりました。

生産者が参加者に原木しいたけの良さをPRしながら、植菌作業をサポートして、植菌体験をしてもらいました。

なお、実施に際しては、密にならないように、午前10時からの部と、11時からの部の2部制で順番に、マスク着用の上、作業を行っていただきました。植菌した原木は、各自で持ち帰って

いただき、自宅でのしいたけ栽培に取り組んでもらっています。



電動ドリルを使って、穴開け作業。



駒菌を植菌する参加者。

3 今後の取組・課題

当協議会の会員は、平成23年度には19名いたが、会員の高齢化に伴い、現時点では7名となっている。現会員も70代以上の方が半数を占めており、今後、若い新たな会員を確保しなければ、協議会としての活動が危ぶまれる状況にある。

北但きのこ生産振興協議会としては、生産者同士の交流の場として、また情報交換や研修を通して、会員のしいたけ生産への取り組み意欲の向上を図るために活動を継続して行きたいと考えています。

後継者育成については農林水産業全般における大きな課題ではありますが、しいたけ生産に取り組んで見ようという方が現れるような下地づくりとして、但馬産原木しいたけのPR活動を行っていくことが必要と考えています。

5 課題に関わった林業普及指導員

豊岡農林水産振興事務所 森林課長 岡田英樹、課長補佐 福田祐介

II 令和4年度 林業普及指導事業の概要

		内 容
普及指導員の配置		・林政調整班主幹1名 林業専門技術員2名 林業普及指導員等40名 計43名
普及指導事業の実施計画		・3普及指導区ごとに、普及指導の重点事項を定め、効率的に普及指導活動を実施
普及指導職員等の研修		<ul style="list-style-type: none"> ・重点課題に対応した研修・林業技術普及研修 ・段階別研修(新任再任5/18、若手1・2年目11/7～8、若手4・5年目11/1～2) ・林業普及指導員近畿ブロックシンポジウム (日時:9/5～6 場所:和歌山市(和歌山県主催) 発表:加東農林振興事務所畝井主査) ・林業普及職員研修大会(2/3 主伐・再造林推進活動報告会) ・国実施研修
巡回指導		・普及指導区別の会議の開催 年2回(調整会議及び進捗会議)
林業普及情報活動システム化事業		<ul style="list-style-type: none"> ① 現地情報の収集及び提供「年輪」の作成等 (森林林業技術センターHPへの掲載) ② 「普及情報報告書」(各事務所作成)の収集及びリスト作成 ③ 特定情報調査の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・林業機械保有状況調査実施 ・林業試験研究情報調査実施「シカ防護柵の検証と維持管理における省力化手法の検討」
後継者育成	指導林家・青年林業士	<ul style="list-style-type: none"> ・指導林家・青年林業士登録者数 84名 (令和5年3/31現在) ・新規認定青年林業士3名 ・先進地視察(12/2 和歌山県)・スマート林業技術研修(3/14 森林技C)
	林研グループ活動	<ul style="list-style-type: none"> ・兵庫県林業研究グループ連絡協議会加入グループ(16グループ)(令和5年3月31日現在) ・林研グループリーダー研修(8/26 多可町・丹波市) ・近畿ブロック林業グループコンクール開催(9/12 神戸市(兵庫県主催)、バイオマス丹波篠山発表) ・全国林業グループコンクール参加(3/2 東京都、バイオマス丹波篠山発表)
革新支援担当の取組 林政調整班主幹 林業専門技術員		<p>全県的な普及課題に対応するため、普及担当課長等、研究機関、林業関係団体と連携し、新しい技術や研究成果の普及、現場ニーズに応じた全県横断的な普及活動の展開、研修の企画・運営を行う。</p> <p>(主な課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 森林資源の循環利用と林業経営の効率化(主伐・再造林低コスト普及モデルの構築) ② 県産木材の利用拡大と加工流通体制の強化 ③ 森林の防災機能の強化を図る「災害に強い森づくり」の推進

令和4年度市町村森林整備計画の樹立・一部変更に関わった職員

森林計画区	農林事務所	市町	区分	学識経験者の意見照会への対応	
				森林総合監理士	林業普及指導員
加古川	阪神	尼崎市			
		西宮市	一部変更	—	課長 上村公浩
		芦屋市	一部変更	—	課長 上村公浩
		伊丹市			
		宝塚市	一部変更	—	課長 上村公浩
		川西市	一部変更	—	課長 上村公浩
		三田市	一部変更	—	課長 上村公浩
		猪名川町	一部変更	—	課長 上村公浩

令和4年度 林業普及指導職員等の研修実績

研修名		実施回数	研修人員	研修日数	備考	
	段階別研修	新任・再任AG研修	1	9	1	5/18(神河町)
		若手1、2年目研修	1	20	2	11/7-8(神河町・宍粟市)
		若手4、5年目研修	1	16	2	11/1-2(宍粟市)
	林業技術普及研修 (普及指導員専門 項目別研修)	森林経営	2	21	2	7/28、8/19 コスト分析研修
		施業技術	4	67	4	7/19 ナラ枯れ防除(神河町) 10/13 林業種苗(緑化センター)、11/25 シカ被害防除(丹波市)、3/14スマート林業技術(センター&オンライン)
		林産	2	24	2	12/15 木材市場調査研修(山崎木材市場)、3/1 大径材利用(しその森の木ほか)
全体研修		1	46	1	2/3 主伐・再造林推進活動報告会(姫路庁舎)	
研修名		研修人員	研修日数	備考		
国 実 施 の 研 修	本所 (八王子)	森林計画(基礎)	1	5	6月	堀川
		森林計画(森林調査・計画策定)	1	5	9月	八木
		森林保護管理(病害虫)	1	4	6月	山脇
		林業金融実務・税制	1	4	6月	竹野
		森林組合指導担当者基礎	1	3	6月(オンライン)	高山
		木材産業・木材利用(実践・輸出戦略)	1	5	1月	宇多
		木材産業・木材利用(先進事例学習)	1	5	9月	松下
		研修企画運営実務(先進事例学習)	1	4	10月	岩崎
		スマート林業普及教職員等育成	2	2	8月	岩成、下郷
	林業機械化センター	高性能林業機械(女性担当者)	1	5	9月	細田
		高性能林業機械(安全指導・前期)(講義)	1	3	6月(オンライン)	岩崎
		高性能林業機械(安全指導・後期)(実習)	1	5	7月	岩崎
		高性能林業機械(生産性)	1	5	9月	衣笠
		森林作業道(基礎技術)	1	11	10月	船曳
		森林作業道(調査設計)	1	5	7月	兼光
	森林総合監理士育成	前期(八王子)	1	4	5月(オンライン)	宗接
	林業成長産業化構想技術者育成研修(中央+近畿中国)	1	中央ブロック	3 4	7月 10月	酒井 酒井
	技術力維持・向上対策研修(北海道ブロック)	1		3	9月	畝井
	林業普及指導職員全国シンポジウム	2		2	東京都	11/30 上田、新見
	林業普及指導職員近畿ブロックシンポジウム	4		2	和歌山県	9/5-6 (加東農林畝井主査発表)

令和4年度 林業普及指導職員名簿

令和4年4月1日現在

所 属	職 名	氏 名	普及指導区	森林 総合 監理 士	専 門 項 目							
					森林経営		施業技術			林産		
					林業 経営	機能 保全	造林	森林 保護 I	森林 保護 II	林業 機械	林産	特用 林産
林務課 (1名)	林政調整班主幹	倉橋 路枝	全県	○	○		○			○	○	
森林林業技術センター (3名)	林業専門技術員	尾崎 真也	全県		○		○	○	○			
	林業専門技術員	小長井 信宏	全県	○		○			○		○	○
	主査	山下 毅	全県			○	○	○		○		
県立森林大学校 (1名)	主査	大黒 明子	全県				○					
森林動物研究センター (1名)	森林動物専門員	田口 彰	全県						○			
計		6名		2	2	2	4	2	3	2	2	1
阪神淡路	神戸農林振興事務所 (4名)	森林課長	上川 総司	神戸市			○		○			
		農政専門員	土井 幸亮	神戸市		○						○
		課長補佐	南都 義道	神戸市						○	○	
		課長補佐	下田 惣一	神戸市			○	○				
	阪神農林振興事務所 (2名)	里山・森林課長	上村 公浩	管内全域			○	○			○	
		職員	森本 祥子	管内全域						○		○
	加古川農林水産振興事務所 (3名)	森林課長	紙本 雅弘	加古川市		○	○					
		農政専門員	柴原 隆	高砂市						○		○
		主任	谷 俊徳	明石市・稲美町・播磨町						○		○
	加東農林振興事務所 (3名)	所長補佐兼森林課長	大津賀 秀樹	管内全域		○	○					
		主査	畝井 良幸	西脇市、加西市、多可町				○		○	○	
		職員	森本 麻友美	三木市、小野市・加東市					○	○		○
	洲本農林水産振興事務所 (2名)	所長補佐兼森林課長	上野 茂樹	管内全域			○	○	○			○
		課長補佐	千坂 竜一	管内全域		○	○			○		
計		14名		0	4	6	3	3	9	3	5	1
中播西播	姫路農林水産振興事務所 (5名)	森林専門員	新見 満	管内全域	○	○			○			
		農政専門員	藤井 孝明	福崎町		○						○
		課長補佐	浅田 知宏	神河町				○			○	
		主査	石坂 知行	市川町			○		○	○		
		主任	鈴木 大智	姫路市						○		○
	光都農林振興事務所 (6名)	所長補佐兼森林第1課長	谷口 英樹	全域		○				○		
		課長補佐	有元 正彦	宍粟市波賀町・千種町						○		○
		課長補佐	平野 修之	たつの市・太子町・相生市・赤穂市・上郡町			○			○		
		課長補佐	高山 勉	宍粟市山崎町						○		○
		主査	大橋 正知	佐用町					○			
主査	宗接 聖史	宍粟市一宮町					○		○			
計		11名		1	3	2	2	2	7	2	2	2
但馬丹波	豊岡農林水産振興事務所 (4名)	森林課長	岡田 英樹	美方郡		○			○			
		課長補佐	福田 祐介	豊岡市								○
		課長補佐	溝口 達普	豊岡市				○			○	○
		主任	永井 英司	美方郡		○			○			
	朝来農林振興事務所 (4名)	森林第2課長	上田 敦祐	朝来市(旧和田山・山東)	○	○				○		
		農政専門員	井上 靖	養父市(旧大屋・関宮)	○						○	○
		課長補佐	濱田 和則	朝来市(旧朝来・生野地区)	○		○					○
		課長補佐	尾畑 俊彦	養父市(旧養父・八鹿地区)				○	○			
	丹波農林振興事務所 (4名)	森林課長	雑賀 謙彰	丹波篠山市		○				○		
		課長補佐	久保田 誠司	丹波市柏原町・山南町				○			○	
		課長補佐	上坂 亮太	丹波市春日町・市島町						○		○
		主任	津瀬鹿 信雄	丹波市氷上町・青垣町			○					○
計		12名		3	4	2	3	2	4	3	3	3
合計		43名		6	13	12	12	9	23	10	12	7